

沼津工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	先端ものづくり工学	
科目基礎情報							
科目番号	2020-817			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子制御工学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	プリント配布等						
担当教員	小林 隆志						
到達目標							
1. 企業における会計について説明できる。 2. 企業の工場見学を通して、企業において要求される技術レベルを理解できる。学校における授業科目とのつながりを説明できる。 3. 先端加工技術を理解し、説明できる。 4. IoT/AI技術を取入れた今後の工業製品の動向と技術者とのかかわりについて説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	企業における会計の概略を具体例を挙げて説明できる。			企業における会計の概略を説明できる。		企業における会計を説明できない。	
評価項目2	企業において要求される技術レベルの概略を具体的な例を挙げて説明できる。			企業において要求される技術レベルの概略を説明できる。		企業において要求される技術レベルを説明できない。	
評価項目3	先端加工技術の概略を具体的な例を挙げて説明できる。			先端加工技術の概略を説明できる。		先端加工技術を説明できる。	
評価項目4	今後の工業製品の動向と技術者とのかかわりを具体的な例を挙げて説明できる。			今後の工業製品の動向と技術者とのかかわりの概略を説明できる。		今後の工業製品の動向と技術者とのかかわりを説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	芝浦機械株式会社の技術者を講師として迎え、産業界で実際に行われている“もの作り”の基本を学ぶ。また、実際の“もの作り”の現場を見学することで、そこで要求される加工精度、コスト、納期等のレベルを理解する。今後の工業製品の動向と技術者とのかかわり及び技術者として身につけるべき事柄を理解する。						
授業の進め方・方法	講義及び工場見学を通して、産業界で実際に行われている“もの作り”の基本を学ぶ。講師の若手技術者が業務紹介をした後、テーマに関する講義を行う。最後に質疑・応答を行う。各回に課されるレポートまたは時間内に行われる確認テストにより理解を深める。						
注意点	1. 受講者希望者数が概ね100名を超える場合には、受講者を調整する場合があります。 2. 科目全体で60点以上の場合に合格とする。評価基準については、成績評価基準表による。 3. 2020年9月8日改訂						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、芝浦機械の紹介		本講座の概要説明、科目の取り組み方を理解する。本講座の概要説明により、授業への取り組み方を理解する。また、芝浦機械の歴史を理解し、説明できる。		
		2週	鋳造技術		鋳造技術の概要を理解し、説明できる。		
		3週	スマートファクトリー		スマートファクトリーの概念等を理解し、説明できる。		
		4週	ものづくりにおける企業会計		ものづくり企業における企業会計の概要を理解し、説明できる。		
		5週	工作機械技術		工作機械技術の概要を理解し、説明できる。		
		6週	超精密加工技術		超精密加工技術の概要を理解し、説明できる。		
		7週	射出成形技術		押出成形技術の概要を理解し、説明できる。		
		8週	ダイカスト鋳造技術		ダイカスト鋳造技術の概要を理解し、説明できる。		
	2ndQ	9週	押出成形技術		押出成形技術の概要を理解し、説明できる。		
		10週	産業用ロボット技術		産業用ロボット技術の概要を理解し、説明できる。		
		11週	産業用制御機器技術		産業用制御機器技術の概要を理解し、説明できる。		
		12週	IoT技術		IoT技術の概要を理解し、説明できる。		
		13週	AI技術		AI技術の概要を理解し、説明できる。		
		14週	企業で働くとは - 企業が求める人材 -		企業が求めている技術者の姿勢を理解し、将来の自分の生き方をイメージできる。		
		15週	工学系技術者へのアドバイス、1軸ステージ送り系設計		技術者に求められている基本的な事柄を理解し、説明できる。1軸ステージ送り系の設計において、サーボモータを選定できる。		
		16週	1軸ステージ送り系設計、授業のまとめとアンケート		1軸ステージ送り系の設計において、サーボモータを選定できる。また、本講座で学んだ内容を振り返り、産業界のものづくりに求められる各種技術とその要求レベルについて理解し、説明できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	レポートまたは確認テスト					その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0

專門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0